

■物性

試験項目	物性値	試験方法
硬度(ショアD)	25°C 72	JIS K 7215
鉛筆ひっかき硬度	25°C 2H	JIS K 5600
光沢	60° 95 以上	JIS K 5600
耐摩耗性(摩耗減量)	25°C 76.0 mg	テーバー式 CS-17 9.8N 1000回転
すべり抵抗係数	ドライ 0.841	斜め引張形試験機 すべり片A
	ウェット 0.563	

■付着性(建研式)

下地	付着強さ(N/mm ²)	破壊形態
コンクリート	2.8以上	下地破壊
アクリル塗料(下地ISOモルタル)	2.1以上	下地破壊

※上記の物性値は代表値です。保証値ではありません。

■材料荷姿

入り目 …………… 10kgセット
(主剤:8kg、硬化剤:2kg)
主剤と硬化剤の混合比率 … 4:1
標準塗布量 …………… 0.6kg/m²
(約15m²/セット)



■カラー ※特注色の場合、別途ご相談下さい。

#1000	#4200
#1200	#5000
#4000	#5500

※実際の色は、色見本帳にてご確認ください。

注意事項

〈施工環境温度〉

気温が15°C~25°Cの範囲でできるだけ施工を行って下さい。
気温10°C以下、または気温30°C以上は仕上がりが不良などが起きる事があります。
高温では塗装可能時間が短くなり、低温では養生時間が長くなります。
※ご不明な点は御相談下さい。



〈取り扱い面〉

- 呼吸器、皮膚の敏感な人やアレルギー体質の人は、この作業に従事しないで下さい。
- 取扱い中は、保護メガネ・保護手袋・保護服・作業衣・有機ガス用防毒マスクまたは必要に応じマスクを着用して下さい。
- 取扱いは換気の良い場所で行い、蒸気を吸わないようにして下さい。
- 火気のある場所での取扱いはしないで下さい。
- 貯蔵は、確実に密閉できる容器で火気のない場所に保管して下さい。
- 容器の廃棄は、中身を使いきってから行って下さい。

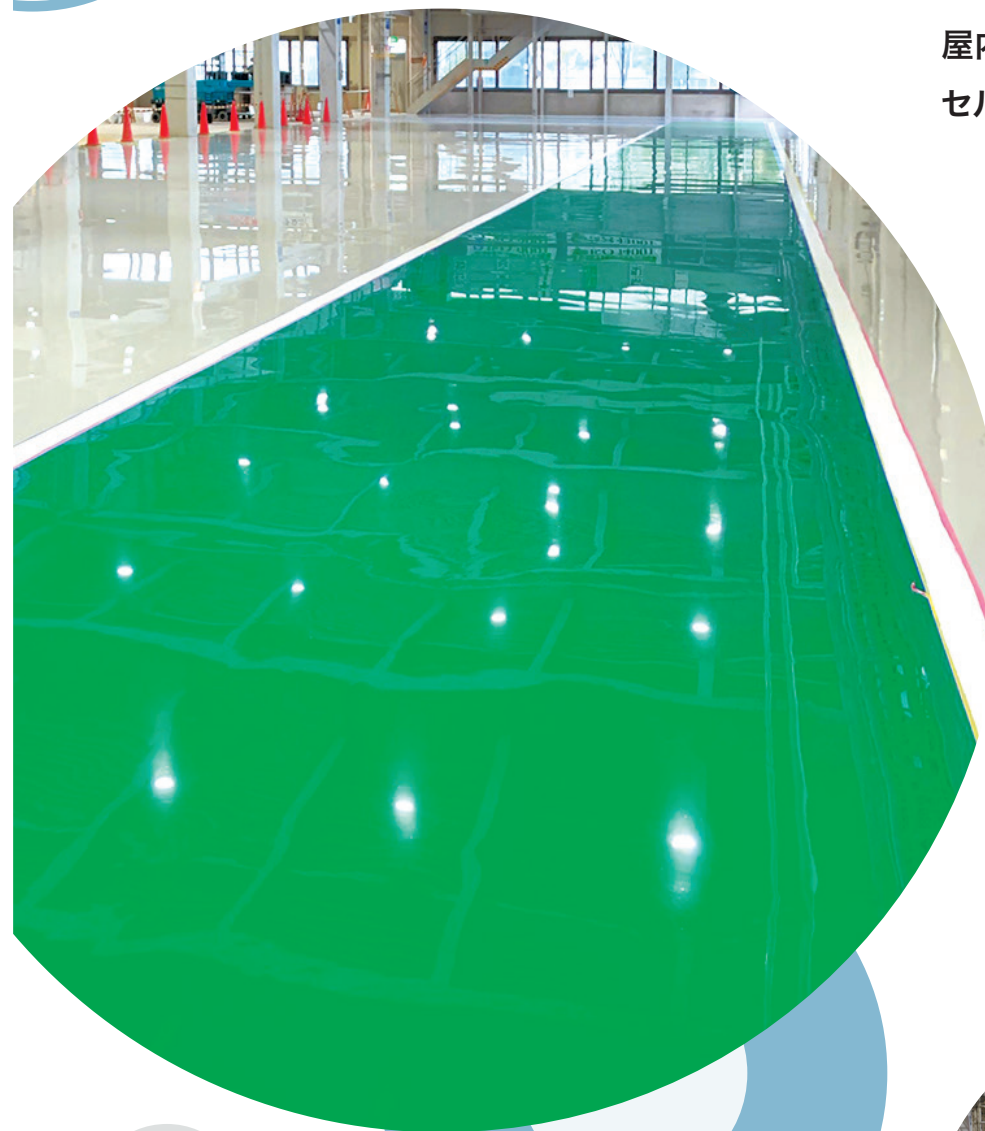
〈施工面〉

- コンクリート下地の場合は目止め工程を省略するとピンホールが発生します。
- 材料の可使時間内に塗布しないと、仕上がりが不良となります。
- 溶剤で希釈すると仕上がりが不良となる場合がございますのでしないで下さい。
- 必ず電動攪拌機で十分に混ぜてから塗布して下さい。
- 既存塗膜に塗り重ねる場合、強度不足による剥がれ、浮きとなる可能性があるため、事前にテストして下さい。
- 短毛ローラーで左右に材料を配り、縦にローラーを転がして仕上げして下さい。

その他の詳細は、お問合せまたは製品安全データシート(SDS)をご参照願います。

レジコン®Eローラー

エポキシ樹脂系
屋内床
セルフレベリング性塗床材(ローラー用)



PCC ペトロケミカルス株式会社

NNK 日本塗料工業会会員

本社：〒532-0011 大阪市淀川区西中島2丁目11番30号(ヤマオキビル4階) TEL(06)6300-4700(代) FAX(06)6300-4777
東京営業所：〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町20番(神保ビル4階) TEL(03)5207-5224(代) FAX(03)3256-5226

PCC ペトロケミカルス株式会社

誰でも簡単に床が塗り替えられる！ エポキシハイビルド塗り床材

F☆☆☆☆

レジコン® Eローラー

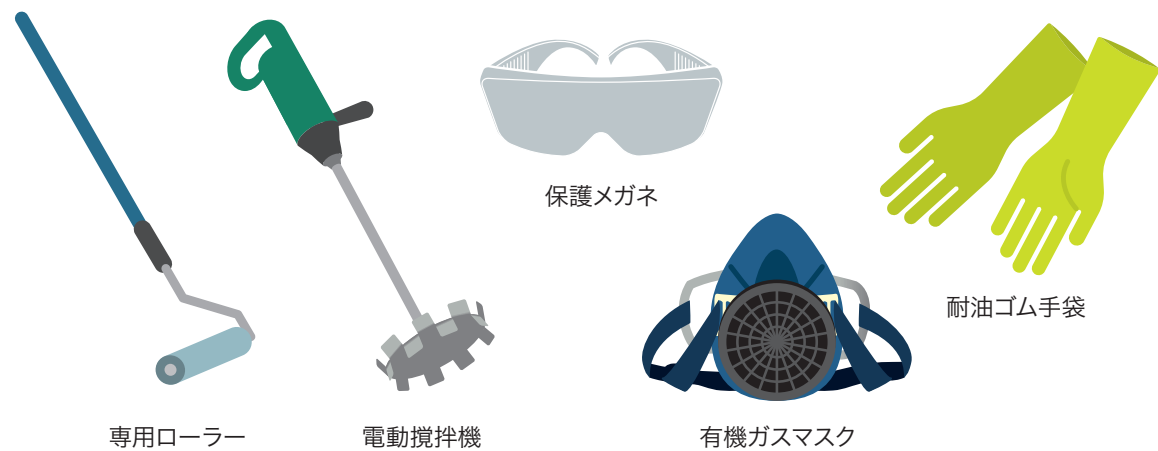
特徴

- ローラー塗りで高光沢、高耐久な塗膜を形成します。
 - 現在の床塗装面に直接塗布可能です*。
 - ほとんど臭気がありません。
 - 豊富なカラーバリエーション。
 - 抗菌仕様(銀系)で衛生的な床面を保ちます。
- ※既存塗膜、下地の状態により下地処理やプライマーが必要な場合があります。

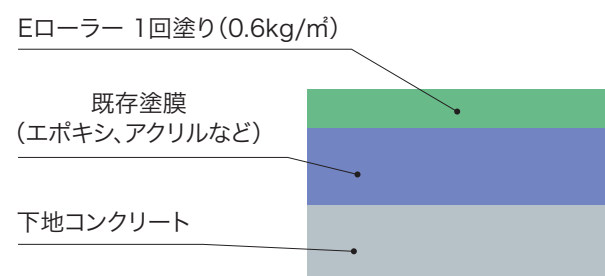
用途

- 美観を回復したい現状床の塗り替え。
- フォークリフト走行などにも耐える耐久性を求める倉庫床など。

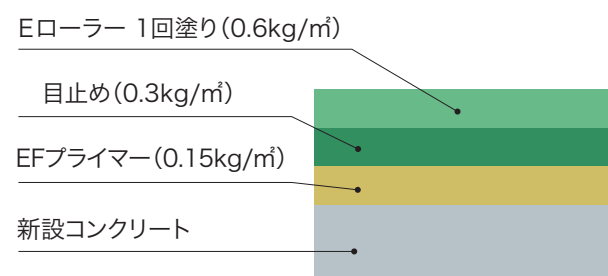
必要な工具



標準工法(塗り替え工法)



新築工法



目止め材は御相談下さい。

標準施工要領

1 既存下地の確認

現状の床面がしっかりと下地コンクリートに密着しているか、ガムテープでの剥離テストなどを行い確認します。(コンクリート下地や床面に油分等が見受けられる場合別途下地処理とプライマーが必要です。詳しくはお問い合わせ下さい。)

問題がある場合は御相談下さい。



2 下地の清掃

付着した汚れ、埃などを除去します。油分がある場合は床用洗剤にて水洗して除去します。



3 材料の準備

Eローラー主剤缶の天面を空けてEローラー硬化剤を投入します。すぐに電動攪拌機でよく攪拌します。攪拌は缶の底、コーナー部など攪拌羽根が届いていないところが無いよう、十分に混ざるように確実に行って下さい。



4 材料流し拡げ

よく攪拌した材料を床面にスジ状となるよう流し拡げます。

攪拌した材料はできるだけ早く床面に流して下さい。



5 ローラー刷毛による塗布

ローラー刷毛により、均一になるよう材料を伸ばし拡げていきます。1セット当たり17m²が目安です。

